

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 His 束ペーシングと右室ペーシングの長期閾値変化の検討』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科では、His束ペーシングの安全性・有効性を確認することを目的として本研究を計画しました。閾値とは心臓を収縮するのに必要なペースメーカー出力を指し、この出力の長期変化を検討します。

この研究で得られる成果は、今後のペースメーカー治療成績の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2014年6月～2018年11月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科において、徐脈性不整脈の診断で診療を受けた患者さん(約28例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
職位・氏名 准教授 原 英彦
電話 03-3468-1251 内線 7122